

Oasis
おあしすvol.
39冬号
令和8年2月医療法人社団良友会
RYOYUKAI <https://www.ryoyukai.or.jp/>

ホームページ



Instagram



Facebook



山陽病院50周年特別号



医療法人社団良友会 理事長 中島 唯夫

本年もよろしくお願いたします。
良友会も昭和50年、中山下の新田ビル4階に中島内科・神経科を開業以来、昨年、満50年を迎えることができました。これも皆様方々の様々なご支援のおかげと深く感謝申し上げます。

そもそも昭和50年頃の精神科医療はまだまだ治療も少なく病院に入院するしか方法がない病院収容時代といわれる時代でした。そして年月が進むにつれ精神科医療も薬が良くなり治るようになりました。それに合わせるように法律も精神衛生法から昭和62年に精神保健法、平成7年に精神保健福祉法とかわり、病院収容時代から患者の人権擁護と社会復帰、そして患者の自立・社会参加を援助するように変化してきています。そして障害者権利条約(平成25年)の国連審査・勧告をうけ令和4年8月に精神保健福祉法はさらに改正され、脱施設化への対応として地域生活への移行を促進するようになりました。このように世の中はこの50年の間に変化してきました。良友会もそれに合わせるように昭和55年には山陽病院ができ、平成4年に藤崎苑、平成12年にケアハウスロータス桑野ができて、平成24年に山陽病院の改築を行って現在に至ります。

ただ、世の中が変わって変化して良いものと変化してはいけないものがやはりあるのではないかと思います。

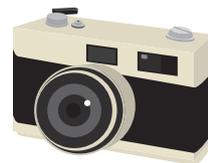
特に医療に向き合う姿勢は変化してはいけないものの一つです。病に苦しむ人に手を差し伸べること、これは創業者である中島良彦名誉理事長が伯父の姿をみて診療所を開業するにあたり思い立ったと聞いています。昼も夜も関係なく、食事中だろうが夜中だろうが時をいとわず診療に応じる姿は、まさに赤ひげ先生だったそうです。この姿こそが医療を行う者として真摯に向き合う姿ではないでしょうか。平成24年に改築し、院長を引き継いだときに断らない医療を実践してきました。

この度、50周年を迎え51年目の一歩としてもう一度医療・介護を見直したとき、やはり病気の人を治し、癒やし、生活を支えて安らぎを与えることが求められていると思います。治療が終われば退院して福祉につながるようにする。つまり診療は迅速に対応し、目的が達成されれば速やかに在宅に戻る。入口から出口までつながり、困ったときにいつでも助ける、「メビウスの輪」のように切れることのないつながりを新たに目指していきたいと思います。どうぞこれからもよろしくお願い申し上げます。





良友会50年史 写真館



写真一枚一枚に、その時代を生きた人の想いと、ここで紡がれてきた時間があります。懐かしさとともに、未来へ続く歩みを感じていただければ幸いです。

1970年代

良友会の原点

すべてはこの扉から始まりました。
この扉を開いた一人ひとりとの出会いが、
良友会の「地域に根差した医療」の原点となりました。

1975年
中島内科・神経科医院 開業／当時の扉



現 山陽病院 理美容室
に使用されている当時の扉
時代は変わっても、大切に
したい想いは、今もこの扉
に息づいています。

1980年代

迷った人が、安心して戻れる場所に

「ここに来れば大丈夫」
そう思ってもらえる場所を目指し、
山陽病院は歩み始めました。



1980年 山陽病院 開業

1970年代

1980年代

1990年代



山陽病院建設前の藤崎の地



1992年
介護老人保健施設
藤崎苑 開設

1990年代

精神科医療から高齢者医療へ 大きく領域を拡大

医療の先にある「暮らし」へ。
地域で生活を続けるための支援が、
医療と介護をつなぐ形で広がっていきました。



1995年
藤崎苑在宅介護支援センター
開設

地域に根差した医療を

人と人とのつながりを、何よりも大切に。
そして、どんな時も途切れることのない支援を。
良友会の歩みは、地域の中で生きる一人ひとりと向き合い、
その暮らしに寄り添い続けてきた歴史です。
写真に残るのは、建物や行事ではありません。
そこには、支え合い、受け継がれてきた想いがあります。



まるく、あたたかく、未来へ

これからの時代がどれほど変わっても、私たちは“人のぬくもりを大切に
する医療”を中心に据えて歩み続けます。デジタル化や新しい医療技術が
進む中でも、患者さんやご家族の声にそっと寄り添うことを忘れずに。
地域とのつながりを育てながら、安心して頼れる場を未来へ紡いでいきます。
この先も、まるく、あたたかく——良友会は皆さまとともに歩み続けます。



2000年代

医療・介護・生活をつなぐ 良友会のネットワーク完成

医療・介護・生活をつなぎ、点だった支援が線となり、
人生に寄り添うネットワークが形になっていきました。



2000年 ケアハウスロータス桑野 開設

2020年代

支え合う力が 未来を照らす

必要な時に、必要な場所で支えられるように。
良友会の役割は、今も広がり続けています。



2020年 理事長交代式

想いを受け継ぎながら、
地域とともに歩み続け
る決意を新たにした節
目の一日です。

2000年代

2010年代

2020年代

未来へ

2010年代

地域とともに 森とともに

植物生態学者・故 宮脇昭氏
のご指導のもと3回植樹祭を開催。
小さな苗木に託したのは、
人と地域がともに育つ
未来への願いでした。



故 宮脇昭氏



植樹した苗木



現在：命を守る癒やしの森

今では立派に成長し「命を守る癒やしの森」となり
ました。時間をかけて育った森のように、支援もま
た、地域の中で根を張り続けています。



2012年 歯科 開設



2018年
訪問看護ステーション桑の実 開設



2012年 精神科デイケア 開設



2024年 地域相談支援センターくすみ 開設

「人の意識が現実を創造する」

名誉理事長 中島 良彦

感謝

創立50周年、皆さんありがとうございます。良友会職員の皆さんをはじめ、入院の患者さん、出入りの業者さん、感謝申し上げます。そして、近隣の地域の町内会の皆さんにも大変お世話になりました。この場を借りて厚く感謝申し上げます。50年の長きに亘って、皆様にお世話になりました。

診療所開設

昭和50年1月に中山下のビル一角で診療所を始めました。中島神経内科医院、以来5年後に山陽病院開設、6年後B病棟、2年後藤崎苑、6年後D病棟、6年後ケアハウスロータス桑野開設と次々と建築ばかり、人間関係はガタガタ。

20周年記念日の出席者8名で価値観の違いに気付く。

或る看護師さんに言われました。先生は優秀なドクターがおれば良いと思っているのでしょうか。違いますよ、病院は看護師で成り立っているのです。と言われてびっくり仰天。その通り。「何に価値があるか」私の価値観が間違っていたのです。

私の思い「自分は何がしたいのか」を見失うとこうなる。

大切なのは「自分の思い」であります。思いとは、「自分はこうなりたいな」とか、「こんなことをしてみたい」という思いであります。小学校の頃ドクターの伯父さんと一緒に住んでいて、私は医者になりたいな—とっていました。そしてなりました。その思いを大切にしてほしいのです。結婚したいな—。良いです。結婚しましょう。私もそうして結婚したのです。

なにが言いたいのか；「人の意識が現実を創造する」。ということです。このことは量子力学の創始者マックス・プランクやニルス・ボーアが言っています。高い価値観を持ちましょう。財布が暖かくなります。

医療法人社団 良友会のマークについて



- ① 丸は和に通じ、絆と融和、協力を意味する。
- ② 小さい丸は部分。大きい丸は全体を表し、全体と部分の関係性を示す。
- ③ 白は凸、ピンクは凹から長所と短所相互補完を示す。
- ④ 白とピンクを丸で囲い、表と裏、善と悪、美と醜の統合を示す。
- ⑤ 小さい丸は耳、ピンクは手を示し、人が耳に手を当てて傾聴している様を表す。

以上より、このマークは精神科としての基本姿勢である傾聴を基に、長所や短所をともに補完し合い、おのこの個性を生かし助け合う和をもって、全ての方々に医療・介護・福祉サービスを通して社会貢献していく姿勢を表しています。

50周年記念式典・永年勤続職員表彰式

2025年10月1日(水)、良友会グループで50周年記念式典・永年勤続職員表彰式が行われました。
 今年は10年から30年にわたり良友会を支えてくださった15名の職員の皆様が表彰されました。
 今後も変わらぬご活躍をお祈り申し上げます。



ベテランスタッフに聞きました! 良友会あるある

お気に入りスポットは?

- ツバメの巣がある中庭 ● 南棟の屋上
- 中庭の吹き抜けから上を見上げると空が綺麗
- 相談支援センターくるみの部屋
- 売店
- 自然を感じることができる
- 北5階から見える岡南大橋

長く働いていて良かったこと

- 思考力・忍耐力がついた
- 良い“友”や同僚と出会い支え合いながら歩めたこと
- 患者様、利用者様、そのご家族と長期にわたり関わりが持て関係性を深めることができた
- 働きやすい

良友会を
漢字一文字で表すとしたら

縁 友 繋

陽 森 想 円 心 良 花 和

良友会をより良くする 為には何が必要?

- 思いやりのある笑顔
- 人手不足解消 ● チーム力

良友会にありがちなこと

ハローズに行く时必须職員に会う

ここが自慢

- 断らない医療
- 同期との繋がり
- 豪華なクリスマスツリー

これまでで一番印象に残っているエピソードは?

- 患者様が当時の天皇后両陛下の車通過の前で転倒し、後日、宮内庁より心配の連絡が入ったこと。
- 精神科デイケアの患者様が飼っていた猫を引っ越し等の理由で譲ってもらったこと。大事に育てられていたことがわかる性格の優しい猫でした。
- とても悲しいことがあった時、部署の方だけでなく他部署の方からも声を掛けていただきとても励みになった。
- 病院建て替えの際に、狭いプレハブの中で仕事をしたこと。
- 勉強会の講師をさせていただき、沢山のスタッフが参加してくれた。翌日「良かったよ」「愛を感じた」「自分も実践してみる」と声をかけてくださりとても嬉しく他部署との繋がりを感じることができました。これからも頑張ろうと思いました。
- 40周年の時、屋上で集合写真を撮影したこと。

募集

中途／看護師・看護助手・介護支援専門員・
調理員・事務・薬剤師・作業療法士・
理学療法士
新卒／介護職・看護師・調理員・作業療法士・理学療法士

お問合せ ☎ 086-276-1101
採用担当者まで

いつでも見学大歓迎!

Instagram @ryoyukai

詳しい内容はホームページをご覧ください。 <https://www.ryoyukai.or.jp/recruit>

栄養部
おすすめ

Let's cooking!

いちご大福



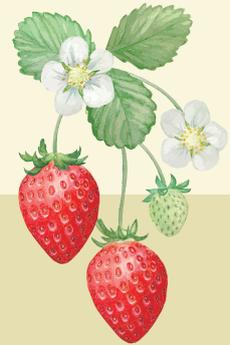
いちご大福
〈1個分の栄養価〉
エネルギー：107kcal
たんぱく質：1.8g
脂質：0.2g

材料 6個分

- いちご(小)…………… 6個 餅
洗ってヘタを切り落とす
切り餅…………… 2個
ひとつを8等分に切る
白あん…………… 120g ④ 砂糖…………… 大さじ2
6等分に分ける 水…………… 大さじ3
片栗粉…………… 適量

作り方

- 耐熱ボウルにAを入れて軽く混ぜ、ラップをかけて電子レンジ500Wで2分30秒ほど加熱する。(加熱後水分と餅が分離している状態でOK)
- 水分が完全に餅に含まれるまでへらでこねる。
- バットに片栗粉を多めに広げ、その上に餅を移動し表面に片栗粉をふり平らにのばして包丁で6等分に切る。
- 餅の粗熱をとっている間に白あんであちごを包む。
- 手に片栗粉をまぶして餅を平らに伸ばし、いちごの先端が下になるように④のをせ餅の端を中心に集めるように包み、上下を返して形を整える。



ひとくちメモ

- いちごにはビタミンC、葉酸、食物繊維がたっぷり含まれています。水に長くつけておくとビタミンCが流れ出る為、洗う時はへたをつけたまま手早く洗うのがポイントです。



目的

医療法人社団良友会

一つ、私達は、
今日より明日の未来に向かって、
「顧客満足度」に努めることを誓います

一つ、私達は、
今日より明日の未来に向かって、
自己の価値観を厳しく検証し、
「自己革新」に努めることを誓います

一つ、私達は、
今日より明日の未来に向かって、
有機体思想の下に、
「人材育成」に努めることを誓います

理念

医療法人社団良友会

この組織は有機体システムである。
有機体システムとは多様な構成要素が、それぞ
れの個性を保持しながら、同一の目的に向かっ
て機能し、行動する組織体のことである。

主文一 互いが互いの存在を自己に見出し、相互の一体性が、完全な価値の創造を可能とする

主文二 人間は出逢うものを通して、自己にとっての真の価値を知り、自己の中に主体的自立を確立する

主文三 統合の思想は、価値の転換を可能とする
価値創造のプロセスで、この知性を生かす